

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○各種予防接種の推進及び普及啓発活動を通じた接種率の向上
主な取組	予防接種の推進		対応する成果指標	結核罹患率（人口10万対）
施策の方向	・県内での感染症の発生予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づいて実施される各種の予防接種を推進し、市町村と県民に向けた普及啓発活動を通じた接種率の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
予防接種従事者研修会を実施する。	県,市町村	接種率向上のための市町村支援等		
		予防接種従事者研修会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	予防接種事業			予算事業名	予防接種事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	247	108	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	330
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新型コロナウイルス感染症の影響により、予防接種従事者研修会の開催を見送った。				予防接種従事者研修会を実施する。		

活動指標名	予防接種従事者研修会の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	0回	0回	1回	0.0%	未着手	予防接種従事者研修会を実施する。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の開催を見送ったことから、昨年度の達成割合は計上していない。 例年、研修会は市町村担当者向けに開催しているが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による予想外の業務に県・各市町村とも注力したことから開催を見送った。 研修会開催により、予防接種への意識向上が図られることから、令和5年度以降は研修会を再開する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の開催を見送ったことから、WEB開催や書面開催などを検討する。</p>	<p>令和5年度にWEB開催含め、予防接種従事者研修会を計画、実施する。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会を開催できなかったため、オンラインによる研修開催に向けて取り組む。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>WEBでの予防接種従事者研修会を開催する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○結核のまん延防止
主な取組	結核対策		対応する成果指標	結核罹患率(人口10万対)
施策の方向	・結核を早期に発見し、確実に治療を行うことで、結核のまん延防止に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
地域DOTS(服薬支援)を実施する。	県	結核患者の早期発見、治療完遂のための服薬支援		
		前年に登録された全結核患者及び潜在性結核感染症の者に対するDOTS実施率		
		95%	95%	95%
担当部課□連絡先	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/vaccine/yobou/tb/tbtop.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	結核患者服薬支援地域連携事業			予算事業名	結核患者服薬支援地域連携事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	1,758	2,185	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	4,757
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地域DOTSの実施。新型コロナウイルス感染症の対応により、地域連携のための会議や研修会は中止または縮小となった。				地域DOTSの推進、地域連携のための会議や研修会の実施。		

活動指標名	前年に登録された全結核患者及び潜在性結核感染症の者に対するDOTS実施率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	94.9%	87.7%	87.7%	95%	92.3%	順調	全結核患者及び潜在性結核感染症の者を対象とし、各保健所において、患者に合わせたDOTS方法により支援を実施した。R3年度は対象者対象者300名の内、263名に対しDOTSを実施(87.7%)。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>R2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、DOTS方法の見直しや関係機関との連携により、DOTS実施率は95%近い達成率となっていたが、R3年度の減少については、1保健所において、新型コロナウイルス感染症対応や職員の病休や育休が重なり、極端に実施率が低くなっていた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・医療者および高齢者施設関係者等へ結核の蔓延防止対策等の研修会を実施し、患者の早期発見・早期治療につなげる。 ・医療機関との会議で課題を検討し、地域支援者と連携して服薬支援を行い、患者の治療完遂につなげる。 ・県民に対するの普及啓発活動（街頭キャンペーンやパネル展、広報誌等）を積極的に行う。 ・外国人患者への医療通訳について、通訳アプリやインバウンド緊急医療対応多言語コールセンター事業を活用し、患者支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や会議は中止または縮小となった。 ・新型コロナウイルス感染症流行期においては、DOTS実施が困難だったこともあったが、概ね例年通りの体制で地域支援者と連携し、DOTSを実施した。R3年度に実施率が低かった保健所については、R4年度において配置の見直しを行ったが、病休や育休が重なり、DOTS人員の確保が困難であった。（R4年度の実績値は、8月集計予定） ・結核予防週間に係るパネル展や街頭キャンペーンについても新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一部縮小して実施したものの、例年に近い内容で実施することができた。 ・必要時、多言語コールセンターや通訳アプリ、資料等を活用し、患者支援にあたった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応への配置換えや、病休・育休等による人員の減少 	① 執行体制の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・各保健所において、結核担当を適切に配置する。 ・臨時的なDOTS人員を確保する。 ・外国人患者に対して、医療通訳を用いて、患者支援を行う。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の多くは高齢者であることから、発見の遅れ、合併症等により支援が困難。 ・結核高蔓延国からの外国人の増加。 ・新型コロナウイルス感染症の流行。 	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との会議で課題を検討し、地域支援者と連携してDOTS体制を構築する。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・医療者および高齢者施設関係者等へ普及啓発により、患者の早期発見・早期治療につなげる。 ・県民に対するの普及啓発活動（街頭キャンペーンやパネル展、広報誌等）を積極的に行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○新型インフルエンザ等の予防法やHIV検査の受検方法の周知広報
主な取組	感染症予防対策		対応する成果指標	結核罹患率(人口10万対)
施策の方向	・新型インフルエンザ等の予防法やHIV検査の受検方法の周知広報等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
感染症の発生予防及びまん延防止のため、新型インフルエンザの発生に備え、予防策の啓発及び感染症医療体制整備の強化等を図る。さらに、HIV検査が受けやすい環境を整備し、感染予防のための啓発活動を行う。	県	新型インフルエンザ発生に備えた医療体制強化及びリーフレット等によるインフルエンザ・HIV等感染症の予防啓発及び検査普及の実施			
		HIV検査件数(年間あたりの検査実施可能数)(累計)			
		2,500件	2,500件(5,000件)	2,500件(7,500件)	
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課		【 098-866-2013 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/yobou/hiv/aids.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 感染症指定医療機関運営補助事業費				予算事業名 感染症指定医療機関運営補助事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	0	0	各省計上	補助	19,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
対象無し（感染症指定医療機関運営費補助：新型コロナウイルス感染症の重点医療機関体制整備事業補助と重複するため）				新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業が9月末終了見込みであることを受け、10月から3月までの感染症指定医療機関運営費補助事業を実施する。		

予算事業名 新型インフルエンザ対策事業費			
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額
		各省計上	補助
令和4年度活動内容			
患者用入院医療機関等に対する医療器材購入費用の補助等。インフルエンザ感染予防啓発用ポスターの作成した。			

予算事業名 新型インフルエンザ対策事業費		
R5年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	79,310
令和5年度活動計画		
患者用入院医療機関等に対する医療器材購入費用の補助等。インフルエンザ感染予防啓発用ポスターの作成。		

様式1 (主な取組)

予算事業名		エイズ対策事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	
各省計上	直接実施	3,183	2,099	
令和4年度活動内容				
ホームページやリーフレット等による、感染予防啓発や検査案内等の情報発信した。				

予算事業名		エイズ対策事業費		
R5年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
各省計上	直接実施	5,219		
令和5年度活動計画				
ホームページやリーフレット等による、感染予防啓発や検査案内等の情報発信。				

予算事業名		エイズ対策強化事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	
各省計上	委託	8,876	9,692	
令和4年度活動内容				
H I V 検査機会拡充のため、医療機関等への検査委託を実施した。				

予算事業名		エイズ対策強化事業費		
R5年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
各省計上	委託	9,422		
令和5年度活動計画				
H I V 検査機会拡充のため、医療機関等への検査委託の実施。				

様式1 (主な取組)

活動指標名	HIV検査件数 (年間あたりの検査実施可能数) (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	184件	80件	622件	2,500件	24.9%	大幅遅れ	新型インフルエンザ等の発生に備え、新型インフルエンザ等患者入院医療機関、感染症外来協力医療機関への設備整備補助を行った。 HIV検査は12月からは全ての保健所で検査を再開した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
新型インフルエンザ等患者入院医療機関、感染症外来協力医療機関への設備整備補助を行うことにより医療体制の整備につなげることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所での検査が371件と目標数より大幅に減少したが、医療機関によるHIV等検査を委託し、251件の検査を実施した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
県内でHIV外来検査を実施している4医療機関において、HIV検査委託事業を開始した				医療機関によるHIV委託検査は11月15日からの約1ヶ月間と、2月15日からの約1ヶ月に、合計251件の検査を実施した			



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県内保健所でのHIV検査体制を新型コロナウイルス感染症流行以前までに回復させる。	① 執行体制の改善	毎年6月のHIV検査普及週間や12月の世界エイズデーにあわせ、通常の検査以外に時間外や休日の特例検査を実施することで検査数の回復を目指す。また、HIV外来検査に対応できる医療機関の拡充を図る。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新型コロナウイルス感染症の流行収束を見定めつつ、新型インフルエンザ等の感染症に対応する体制の整備を図る。	① 執行体制の改善	新型インフルエンザ等の感染症対策の現場である医療機関等に対し、実情に応じた運営費補助及び設備整備補助を行うことで、より費用対効果の大きな体制強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○検査が受けられる体制を迅速に構築できる環境整備
主な取組	新興・再興感染症の流行に備えた検査体制の強化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・感染症対策の重要な要素は各種検査の拡大であり、あらゆる感染症を想定し、検査が受けられる体制を迅速に構築できる環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
衛生環境研究所において新興・再興感染症の検査に備えるため、国立感染症研究所等による研修会に参加し、検査技術向上を図る。	県	検査技術向上のための人材育成		
		新興・再興感染症の検査技術に関する研修会への参加人数(累計)		
		3名	3名(6名)	3名(9名)
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	感染症発生動向調査			予算事業名	感染症発生動向調査		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
各省計上	直接実施	13,312	17,056	主な財源	実施方法	当初予算額	
				各省計上	直接実施	19,916	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
Web形式による国立感染症研究所の希少診断技術研修会に6名が参加し令和4年度に国内外で発生がみられたエボラ出血熱やサル痘等について知見を得た				国立感染症研究所の希少診断技術研修会や国立保健医療科学院の新興再興感染症技術研修に3名程が参加予定。			
活動指標名	新興・再興感染症の検査技術に関する研修会への参加人数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	3名	3名	6名	3名	100.0%	順調	令和4年度はWeb形式による研修会だったため、検査担当職員6名全てが参加可能であった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
当初研修会には、3名の参加予定であったが、Web形式によるアーカイブ配信があったため、検査担当職員6名全てが視聴可能であった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
令和4年度はWeb形式になったことで、希望者全てが参加可能であった。	希望者全てが参加することにより、必要な検査技術等習得が可能であった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新興・再興感染症の検査に備えるため、積極的に国立感染症研究所等による研修会に参加し、検査技術向上を図る。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	研修参加に必要な旅費等を確保し、令和5年度も可能な範囲で研修に参加する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する医師の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・ 新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
令和5年度より国立感染症研究所が一部の協力自治体において研修を展開するFETP(実地疫学専門家養成コース)拠点が、沖縄県で本格運用することに伴い、沖縄県感染症研究センターと連携し人材育成を図る。	県	新興・再興感染症に対応する感染症専門医等の育成		
		研修の修了人数(累計)		
		2名	2名(4名)	2名(6名)
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
国直轄	直接実施	—	—	国直轄	直接実施	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
パイロット的にFETP拠点が開始され実地疫学の研修や「世界のウチナーンチュ大会」における強化サーベイランスでの感染症情報の収集や解析を行った				実地疫学を学ぶため研修の受講や「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」における強化サーベイランス等での感染症情報の収集や解析を行う		

活動指標名	研修の修了人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-名	-名	2名	2名	100.0%	順調	令和4年度はパイロット的にFETP拠点が開始され、実地疫学を学ぶため、研修の受講や様々な場面における感染症情報の収集や解析を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度はパイロット的にFETP拠点が開始され、実地疫学を学ぶため、研修の受講や様々な場面における感染症情報の収集や解析を行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	令和5年度からは本格的に運用を開始しており、新たに1名が追加され、合計で3名が研修に参加している。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	沖縄県感染症研究センターとの連携内容について、今後の方針を決める必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄県感染症研究センターとの連携内容について方針を決定し、相互で有益な体制を構築する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御薬剤師の育成を図る。	県,医療機関等	新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御認定薬剤師の育成		
		研修への補助件数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	保健医療部衛生薬務課	【 098-866-2055 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 認定薬剤師育成支援事業				予算事業名 認定薬剤師育成支援事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	0	0	県単等	補助	3,224
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
感染制御認定薬剤師の資格を取得するために必要な研修会へ参加する旅費に対し助成する予定であったが、研修会がWeb開催となり助成がなかった。				感染制御認定薬剤師の資格を取得するために必要な研修会へ参加する旅費に対し助成する。		

活動指標名	研修への補助件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	0件	3件	0.0%	未着手	新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御薬剤師の育成のため、資格取得に必要な研修会へ参加する旅費に対し助成する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルスによる影響のため、感染制御認定薬剤師の資格を取得するためにかかる研修会がWeb開催となり、研修会参加のために必要な旅費の助成がなかったため未着手とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	-

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナによる影響により旅費の助成を予定していた研修会等がWeb開催になったため、助成がなかった。	② 連携の強化・改善	補助先である沖縄県薬剤師会と連携し、感染制御認定薬剤師の資格取得に必要な研修会への会員の積極的な参加を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する看護の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いた、水準の高い看護を実践できる感染管理認定看護師等を育成し、県内の看護の質の向上を図る。	県,医療機関等	新興・再興感染症に対応する看護の質の向上に向けた感染管理認定看護師の育成		
		感染管理認定看護師養成数(累計)		
		5名	5名(10名)	5名(15名)
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課 【 098-866-2169 】		関連URL	- □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	認定看護師・特定行為研修支援事業			予算事業名	認定看護師・特定行為研修支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	32,850	26,162	県単等	補助	45,060
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄県看護協会が実施した感染管理認定看護師養成課程により20名が養成された。</p>				<p>感染管理認定看護師養成課程を開講している沖縄県看護協会等に対し費用の一部を補助する。</p>		

活動指標名	感染管理認定看護師養成数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		30名	29名	20名	5名	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内において感染管理認定看護師養成課程を開講することで、安定した養成数を確保できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>感染管理認定看護師修了者のさらなる増加を目指し、沖縄県看護協会と連携し取り組む。</p>	<p>沖縄県看護協会が開講する感染管理認定看護師養成課程に必要な補助金等について取り組んだ。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナの影響が変化中、新興・再興感染症拡大に備えるため、県内での感染管理認定看護師養成課程の継続に向けた支援をしていく必要がある。	② 連携の強化・改善	県内で感染管理認定看護師養成課程を開講している沖縄県看護協会と連携を図りながら、引き続き感染管理認定看護師養成に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○医療提供・検査体制の強化
主な取組	感染症法に基づき指定する第一種及び第二種感染症指定医療機関における感染症患者の病床確保の支援		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	<p>・感染症対応の最前線である医療現場においては、スタッフ、病床、機材等も含めて十分な体制が確立されなければならず、新興・再興感染症の流行に備えて、医療機関・医療従事者等への支援体制の強化、PCR検査体制の強化、医療資器材の確保など、医療提供・検査体制の強化に加え、感染隔離者の宿泊施設等の確保や病中・病後のメンタルケア、自宅療養者に対する健康管理並びに在宅医療及び症状変化時の医療機関受診・入院等の医療提供体制の確保に取り組むとともに、新興感染症の治療については、国の動向を踏まえ、新薬の投薬治療等を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
新型インフルエンザ等の感染症対策のため現場である医療機関等の実情に応じた運営費補助を行うことで、より費用対効果の大きな体制強化を図る。	県,医療機関	感染症法に基づき指定した第一種及び第二種感染症指定医療機関の感染症患者のための病床確保支援		
		支援対象となる感染症指定医療機関数(内訳)		
		8医療機関	8医療機関(継続8医療機関)	8医療機関(継続8医療機関)
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 感染症指定医療機関運営補助事業費				予算事業名 感染症指定医療機関運営補助事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	0	0	各省計上	補助	19,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
対象無し（感染症指定医療機関運営費補助：新型コロナウイルス感染症の重点医療機関体制整備事業補助と重複するため）				新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の終了に伴い、令和5年10月から令和6年3月までの感染症指定医療機関運営費補助事業を実施する。		

活動指標名	支援対象となる感染症指定医療機関数（内訳）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0医療機関	0医療機関	0医療機関	8医療機関	0.0%	未着手	令和2～4年度の間、県内の感染症指定医療機関は新型コロナウイルス感染症重点医療機関に対する病床確保補助事業の対象となっていたことから、本事業を実施しなかった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

感染症指定医療機関運営費補助について、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の重点医療機関体制整備事業補助と重複するため、実施しなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	令和2～4年度の間、県内の感染症指定医療機関は新型コロナウイルス感染症重点医療機関に対する病床確保補助事業の対象となっていたことから、本事業を実施しなかった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和5年9月末で新型コロナウイルス感染症対策に係る病床確保補助事業が終了見込であることを受けて、10月から本事業を実施する。	⑥ 変化に対応した取組の改善	感染症法において一類、二類感染症に分別される感染症の患者を新入院させる感染症病床を維持するため、感染症指定医療機関運営費を補助する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の 拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、 新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査のための人材育成			
		積極的疫学調査等の研修の受講者数(累計)			
		20名	20名(40名)	20名(60名)	
担当部課【連絡先】	保健医療部感染症総務課		【 098-866-2014 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組んだ。				新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組む。		

活動指標名	積極的疫学調査等の研修の受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		名	名	17名	20名	85.0%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

受講希望の登録期限とされていた令和4年10月は、新型コロナウイルス感染症の対応で保健所はまだひっ迫の状況にあったが、17名の保健師が講習を受講し、最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	新型コロナウイルス感染症の対応で保健所業務はひっ迫していたが、受講者の受講時間確保のため、所内・班内の業務を調整した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナウイルス感染症への対応が優先され、受講機会を逸した対象者がいたと思慮される。	① 執行体制の改善	達成割合の向上に向けて、保健所等と意見交換を行い、改善策を模索する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査等の保健所業務におけるデジタル化推進		
		新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催(全体演習回数)(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療部感染症総務課	【 098-866-2014 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図った。				新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図る。		

活動指標名	新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催 (全体演習回数) (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調
	回	回	1回	1回	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
訓練の結果、療養証明書発行業務にRPAを導入することとなり、事務作業の効率化・省力化に繋がった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	各保健所で異なっていた様式を統一し、作業要件の簡略化を行うことで、RPAの円滑な導入を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	保険給付の手続きのため、療養証明書の発行ニーズが高まるなか、迅速に対応できた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	今後も、県民ニーズの変化に対応できるよう取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の 拡充・強化	施策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター (仮)」の設置		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、 新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
感染症の早期探知やリスク評価、予防策等の検討を継続的に担う体制の整備、公衆衛生人材を育成する拠点の確保、沖縄県感染症ネットワーク(仮称)の構築等に取り組む。	県	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター(仮)」の設置検討		
		感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター(仮)」の設置検討に向けた可能性調査等		
		情報収集	情報収集に基づく検討	具体的な施策の展開
担当部課【連絡先】	保健医療部ワクチン・検査推進課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	感染症研究センター事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	各省計上	直接実施	53,041
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
感染症研究センター設置に向け、他の都道府県における同様な取り組みの情報収集、新規事業として調査等に必要な予算要求を行った。				次世代シーケンサー (NGS) を用いた高度技術による病原体解析を実施する。		

活動指標名	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター(仮)」の設置検討に向けた可能性調査等		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	-	情報収集	0.0%	順調	令和5年4月1日に、沖縄県衛生環境研究所内に「感染症研究センター」が設置された。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
感染症研究センター設置に向けた必要な情報を収集し、調査等に係る予算要求を行い、新規事業として「感染症研究センター事業」を予算化した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
感染症研究センター設置に向け、他の都道府県における同様な取り組みの情報収集、新規事業として調査等に必要な予算要求を行う。	他の都道府県における同様な取り組み内容を参考に、高度技術による病原体解析を実施していくため、次世代シーケンサー (NGS) の予算要求を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	公衆衛生人材を育成するための方法や手段が定められていない。高度な病原体解析のかかる実施項目を設定する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	国立感染症研究所が研修を展開するFETP (実地疫学専門家養成コース) 拠点と連携し、公衆衛生人材の育成を進める。高度な病原体解析が必要な項目について、中長期的な視野で目標を設定する。